

幼少期からの喘息と高校期のアトピー悪化を経て4か月で日常生活への支障がなくなった青年期アトピーの経過 (24歳男性)

症例 ID：001-20-SRy | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼少期から喘息が強く、救急受診を検討するほどの発作を経験しました。高校3年生の秋頃からアトピーが出始め、浪人期に急速に悪化しました。

皮膚科でステロイド外用薬を使用しましたが、使用回数が増え、最終的には効きにくくなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	浪人期を中心にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	高校3年生頃から治療開始前までです。
中止時期	松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～	喘息	強い喘息発作を繰り返しました。
高校3年生秋～	皮膚症状	アトピーが出始め、浪人期に急速に悪化しました。
治療開始	外用中止	ステロイドを中止し、煎じ薬などによる治療を開始しました。
約2週間後	症状の強い時期	全身から浸出液が出て、強いかゆみと痛みが続きました。
約2か月後	変化	かゆみが徐々に軽減しました。
約4か月後	経過後	かゆみはほとんどみられず、日常生活への支障がなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始約2週間後から全身へ浸出液が広がり、強いかゆみと痛みが続いた時期です。

5. 困りごと

- 全身の浸出液と強いかゆみで、日常生活への負担が大きくなりました。
- 長年、喘息発作と皮膚症状の両方を経験しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総 IgE
治療前	7000 超
記録時点	数百

7. 経過のまとめ

治療開始約4か月後にはかゆみがほとんどみられず、季節の変わり目に軽い症状が出る程度となりました。

総 IgE は 7000 超から数百へ低下し、喘息もみられなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。